

## 第5回 札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会 議事要旨

日 時：平成23年3月25日（金）午前10時

場 所：札幌総合卸センター共同会館 3階

310・311号会議室

### 議事要旨

#### 委員長挨拶

札幌駅の周辺というのは、非常に短期的なことと中長期的なことが入り乱れている。中長期的なところが、この委員会がスタートした時点と変わっている部分やまだ結論が出ていない部分等々がある。

今回の委員会は、通常だと年度内でアウトカムが出てくるのだが、次年度に渡り込みながら続けられる。今までやってきたこと、ご発言していただいたことをベースにロジックを組み立てていくということだと思う。

もう一つ、次年度から札幌市が創成川以東地区についてのシナリオづくりを行政ベースでさらに進めていく。そうすると、都市計画的な地固めの議論も当然背景にあり、この駅周辺の議論も、単なる構想ばかりではなくて、都市計画的な地固めの部分とどう重ねながら考えるのかというところが大事になってくる。

～資料説明：前回委員会議事要旨について(資料1)～

～資料説明：札幌駅交流拠点再整備構想案の今年度のとりまとめについて(資料2)～

#### 1. 札幌駅交流拠点再整備構想案の今年度のとりまとめについて

##### 【パーソンとの整合性について】

- ・パーソンの10年間の計画といっても実際には20年ぐらいの計画になっていて、実現できるかどうかの確証がない都心アクセスの話も書き込んでいる。
- ・パーソンの中で短期、長期を分けずに書いているものを、今の構想案の中では、これは短期、これは長期と分けているところがちょっと気になるが、資料2-3の図はうまくできていて、これが載れば問題はない。

→パーソンの施策については、札幌市総合交通計画という別な委員会で検討しており、その中で方針等が出てくる。最終的にはこの再整備構想案もそれらと整合をとった形でまとめたいと思う。

## 【環境首都札幌としての位置づけや考え方について】

### ○分散型の低炭素な電源供給

- ・エネルギー事業者としては、交通結節点で分散型の電源を持った拠点から低炭素な電源供給をすることが長期的には考えられる。交通も、都心をただ通り過ぎるのではなく、公共交通が充実し、そこに低炭素な電源が供給できれば、電気自動車への乗りかえとか、地区全体の環境性も向上できる。
- ・社会全体のエネルギー利用効率を全体として見れば100%入れたものが65%ぐらいしか使われていない。電力と交通が一番押し下げている原因になっている。通常、大規模集中電源であれば40%ぐらいの効率しか出ないものを分散型コジェネのような電源で7割、8割まで、熱が使えるという意味で効率を上げていく。防災という観点からも分散型の電源を持つということは有効な方法だと思う。
- ・例えば大手町丸の内有楽町のやり方は、新丸ビルで生グリーン電力を全部買ってきて、余った分を街区の中で移転し合って、街区全体の環境負荷を低減している。北海道・札幌であれば、非常に楽にとは言わないが、資源もあるし、バイオマスも使えるので、ポテンシャルを非常に持っている。

### ○明確な目標設定

- ・環境系のことを一生懸命やっている都市では、環境を実現するときには具体的に何%という明確な基準が書かれている。環境首都なのだったら、この再整備の中でCO<sub>2</sub>はどのくらい削減するとか、市電を接続するとか、いろいろ書いてもいい。
- ・環境首都としてのショーケースを作るのであれば、やってしまった方が勝ち。札幌市の駅前は何%減で、開発をするときにこんなに貢献するものを作った、だから、日本全国でこういう駅前をつくる、素晴らしいものをつくって発表してしまうことが効果的で、それが市の中を大きく動かすことになる。とてもチャンスだ。
- ・都心部は基本的にマイクログリッドをベースにして、どこに何を持たせるか、例えば、今動いている三井やNTTに持たせるとか、そういう話をリアルにしている。そういうことを前提に、ここの駅周辺を都市サイドとしてどう考えていくのかという話をきちんとした方がいい。低炭素の議論は、その後から出てきた社会的な通念なので、環境首都と言っている札幌は、その中にもどう書き込むのか、それは宿題として考える必要がある。

### ○これまでの先進的な取組みもアピール

- ・環境の部分では、今まで先進的にやってきた部分※もアピールしつつ、これからはこうしていくという部分をさらに打ち出していけるといい。  
※中央エネルギーセンター南口エネルギーセンター、道庁南エネルギーセンター、天然ガスのコジェネの導入、地下歩行空間によるネットワーク化によるエネルギー効率を高める取組み、北口のエネルギーセンター、地下の北口融雪槽など。

## 【質についてのコンセンサス】

- ・クオリティーというのは人によって考え方が違うので、質とはどんなものかということをもう少し明確にしないと、わかりづらい。
- ・パブリックスペースの質について、現時点でどう共通のコンセンサスを得るのかということもかなり大事だと思うので、次のルーチンの中で確認が必要。

## 【交通と土地利用の一体的再編、街区の再整備について】

- ・「交通結節機能の充実・強化と新たな都市機能の導入」の後の括弧書きに「交通と土地利用の一体的再編」とある。この括弧の中がとても重要なこと。
- ・交通結節点の機能については書かれているが、土地利用とどうやって連動するのかがわからない。ここをどうやってつなげていくのかがもう少し明確になっていなければいけない。
- ・イギリスのパディントン駅周辺では、広域計画策定後に個別敷地ごとのプランニングブリーフを策定しているが、開発事業がまだ全く明確にならない時点でCO<sub>2</sub>何%削減とか、歩道への接続はこんなことを望むとか、具体的に書かれることによって都市全体のイメージもわかるし、交通と土地利用の連携もわかりやすくなる。
- ・街区再整備というのは、新たな再開発になるので、今、札幌市が抱えている問題を解消するために物すごく大きなチャンスになる。そうすると、このチャンスの中に盛り込むべきものはもう少したくさんあってもいい。

## 【具体化に向けて】

### ○構想と具体化計画

- ・パブリックスペースの質の高さとかマネジメントのあり方を考えたときに、このくらいの書きぶりを受けて、質の高いというのは一体どういう空間なのかという別計画があってそれを踏まえます、であればこれでもいい。
- ・この構想の中からはいろいろ派生的に出ていく計画などがあると思うので、そういう中でいろいろフォローしていくのがいい。
- ・実現化に向けた基本方針の考え方とあって、事業展開プログラムとあるが、この間に、検討していかなければいけない部分、隔たりがある。
- ・例えば、空港、港湾、他都市との広域的なアクセス機能の強化というところでダイレクトアクセスのことがあるが、具体的な取り組みと言いつつも、実は機能のことを言っている。この機能を強化するためには、いろいろなやり方があり、そういう検討があって事業プログラムに行くと思う。その間の道筋が書かれるといい。

### ○より具体的な検討

- ・街区再整備の基本的な考え方については、もう少し具体的なものが入ってもいいのではないか。
- ・今後に向けての事業者の一人として、今までも、いろいろな委員をやったときに、言葉で終わったものが多いのではないかと思っている。もう少し具体的に言ってくれれば、事業者としてはいろいろな面で考えていける。

- ・資料2-3も、まだ言葉の世界。この辺をどういうふうに具現化していくか、短期的にどこから先導的にやっていくのか、ということを議論すると、絵にかいたもちにはならなくなる。
- ・例題など具体的なところをもう少し出して、行政の方から指針を与えていただければと思う。

### ○成果の表現とそれを裏付ける検討

- ・仮に成果物がこういうものだとして、言葉としてはこういう書き込みしかできないが、それを裏づける資料とか、実際的にチャレンジしている事例とかを想定しながら自分たちはこういう言葉を使っている、こういう目標を定めようとしているというものがあつた方がいい。
- ・次年度にそういう議論を深めていくときは、リアルな部分をもう一方の手で持ち、参考資料のようなものがどさっとある方が議論としてもしやすい。他部局との連携や別な事業者と議論をするときにも、事業ベースに落としこくときも、やりやすいだろうと思う。

### 【創成川以東地区エリアとの関連について】

- ・創成川以東地区エリアのビジョンとどんなふうに関連させようとするのか。交通結節点と考えると、基盤の都市計画的な地固めの部分をどうするのか。
- ・例えば、短期的な取り組みで北8西1、卸センター、5・1街区、5・2街区とあるが、これを都市計画的にどういうふうに面として考えるのか。土地利用の話も当然の前提になるが、今、都市計画的な意味ではこの辺の議論が余りない。土地利用の方針が共通にならないで事業だけが動いていつてしまっている感じなので、交通整理が必要ではないかと思う。
- 今回の札幌駅交流拠点のミッションとしては、東へどうつないでいくか、連携の必要性や具体的なつなぎ方を少し明らかにしたいと思っていたので、タイミングとして重なる部分もできたので、双方で整理したいと思う。
- 狭い意味での都市計画、つまり、法定都市計画をどう駆使していこうかという意味では、できることは何でもやりますという立場。やるべきことが明確になれば、都市計画的なやりようは幾らでもあるだろうと思う。
- その前段階で、この一帯、あるいはもうちょっと広目の一帯の組み立てをどうするか、ということは当然なくてはいけないし、一緒に検討していく。

## 2. 今後の進め方について

～資料説明：その他（今後の進め方について）（資料3）～  
異議なく承認

以上